

# 琉球大学学術リポジトリ

## 表裏表紙・投稿規定

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学院観光科学研究科 公開日: 2019-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24564/0002011986">https://doi.org/10.24564/0002011986</a>

# 観光科学

Journal of Tourism Sciences

## 第9号

### 研究論文

- 入域観光客の特性から見た沖縄観光についての一考察  
～修学旅行の視点を通して～  
.....上嶋 秀和・片岡 英尋 1
- ウシのグループ育成を通して見る  
現代の沖縄闘牛における牛主にとっての闘牛  
.....池本 倫太郎・松本 晶子 21
- 【特別講演会】沖縄観光の質への転換は可能か？～ DMO に求められる人材と機能～  
(飯島 祥二・桑原 浩・金城盛彦) ..... 35
- 米国 / 海外のケース ..... 原 忠之 37
- 日本のケース ..... 清水 哲夫 42

---

琉球大学大学院観光科学研究科

平成 31 年 2 月

# 『観光科学』投稿規程

第1版 2013年10月1日

この規程は、琉球大学大学院観光科学研究科（以下「本研究科」）が発行する『観光科学』（Journal of Tourism Sciences）への投稿および編集に関する基本的な事項を定めるものである。

## 1. 基本規定

- 1) 原稿は観光に関する人文科学、社会科学、自然科学分野の研究成果をまとめたものとし、原則として未発表のものに限る。
- 2) 本誌の編集は、「観光科学」編集委員会（以下、編集委員会という）が行う。編集委員会は本規程に定める投稿原稿のほかに、必要に応じて寄稿を依頼することができる。

## 2. 投稿者の資格

本誌へ代表著者（筆頭著者）として投稿可能な者は、次に掲げる者とする。

- 1) 本学の常勤の教職員、非常勤の教職員、本学に過去在職したことのある教職員。
- 2) 本学大学院に在籍する大学院生および修了生。但し、この号に該当する者は本研究科の常勤の教職員と連名であること。
- 3) 本研究科の常勤の教職員と共同研究に従事する者。但し、この号に該当する者は本研究科の常勤の教職員と連名であること。
- 4) その他、本研究科の常勤の教職員の推薦状を有し、かつ編集委員会が認めた者。

## 3. 原稿の種類

- 1) 原稿の種類は、「研究論文」、「研究ノート」、「調査報告・資料」、「書評・紹介」、「特集論文」とする。
- 2) 原稿のうち、研究論文については査読者による閲読を受ける。受理の可否は、査読結果を受け、編集委員会で決定する。
- 3) 本誌の発行は年1回とする。本誌に投稿する者は、編集委員会が提示する期日までに、以下に示す執筆要領に従って原稿を投稿するものとする。提出された論文（委員会事務局に提出された原稿・図表・資料等のすべてを含む）は、理由の如何を問わず返却しない。

## 4. 原稿執筆の要領

執筆に際しては、本研究科サイトから「原稿フォーマット」（Word形式）を入手し、以下の原則にしたがって原稿を作成すること。

### 4.1. 書式

- 1) 原稿は、いずれの原稿種類もA4サイズ、横書き、1行47字1頁42行とする。余白は上35mm、下18mm、左右25mmとする。原稿の長さは、刷り上がりの頁数で、以下の範囲内とする。

研究論文、特集論文：14 頁

研究ノート：10 頁

調査報告・資料：8 頁

書評・紹介：4 頁

- 2) フォントは、原則として日本語は MS-明朝、英語は Times New Roman とする。文字サイズは、本文・抄録・キーワード・注・文献リストは 10.5 ポイント、論文タイトルは 14 ポイント、氏名および節項タイトルは 12 ポイント、とする。
- 3) 原稿には、タイトル、著者名、所属部局、連絡先、キーワード（5 つ以内）をそれぞれ和文と英文で併記し、300 語以内の英文抄録（英文原稿の場合は 800 字以内の和文抄録）をそえる。

#### 4.2. 表記法

- 1) 英数字は原則として半角文字を用いる。句読点は「、」「。」を用いる。「、「」「。」「『』」「＝」などの記号類は、全角文字を用いる。特殊な記号類は使用してはいけない。
- 2) 節、項には半角数字を用いて、それぞれ「1.」「1.1.」のように記す。
- 3) 原則として西暦を用いる。年号を使用する場合には、「2000（平成 12）年」のように記す。

#### 4.3. 注および文献引用

- 1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号 1)、2) のように記し、本文末尾に一括して記載する。
- 2) 引用文献の記載は注記を原則とし、下記の要領によるものとするが、各分野学会誌の様式に準じた表記も認める。ただしその場合も、表記は原稿内で統一すること。

##### (1) 和文の場合

- a. 著者名、出版年、『書名』（シリーズ名）出版社：ページ。
- b. 執筆者名、出版年、「論文名」、編著者名『書名』（シリーズ名）出版社：ページ。
- c. 執筆者名、出版年、「論文名」『雑誌名』巻号：ページ。

##### (2) 英文の場合

- a. 姓、名頭文字、出版年. 書名（イタリック）. 出版社: ページ。
- b. 姓、名頭文字、出版年. 論文名. In: 編著者名, 書名（イタリック）. 出版社: ページ。
- c. 姓、名頭文字、出版年. 論文名. 雑誌名（イタリック）, 巻号: ページ。

#### 4.4. 図表および写真

- 1) 図表および写真は、そのまま版下として使えるように、本文に挿入しておくこと。
- 2) 図（写真）と表は各々に通し番号を付し、「図 1：市町村別産業構造」のような題名を、図（写真）は下、表は上に記す。データ引用元を記載する場合には、下部に「（出所）沖縄県市町村課編『沖縄県市町村概要』」のように挙示する。
- 3) 図表および写真は、原則的にモノクロに限るものとする。不可避な理由でカラーであることが必要な場合は、事前に編集委員会事務局に相談すること。なおその場合、カラー印刷に要した追加費用は、原則として執筆者の負担とする。

#### 5. 校正および別刷り

- 1) 著者による責任校正は1回のみ行う。ただしこの際、誤字・脱字の訂正以外は認めない。
- 2) 別刷り（モノクロ）は論文1編につき30部まで無料で提供する。30部を超える部数を希望する場合、およびカラー刷りを希望する場合は、執筆者の負担とする。

## 6. 原稿の提出方法

### 6.1. 原稿の提出先

原稿の提出は、次のいずれかの方法によるものとする。

- 1) 原稿を E-mail に添付し、編集委員会事務局に送信する。このとき、2. 4) に該当する者は、推薦状をスキャンしたファイルも併せて送信する。ただし編集委員会が要求した場合には、改めて推薦状（原本）を郵送せねばならない。

■E-mail: [tourism@w3.u-ryukyu.ac.jp](mailto:tourism@w3.u-ryukyu.ac.jp) 「観光科学」編集委員会事務局 宛

- 2) 原稿を保存した記録媒体（CD-ROM 等）を、編集委員会事務局宛に郵送する。このとき、2. 4) に該当する者は、推薦状（原本）も同封する。

■〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学大学院観光科学研究科

「観光科学」編集委員会事務局 宛

### 6.2. ファイル形式

以下の形式にて、各ファイルを提出すること。

#### (1) 本原稿

Microsoft Word 形式（図表・写真も本文中に挿入）

#### (2) 本原稿（印刷用）

PDF 形式（(1)をPDF化したもの）

#### (3) 図表および写真

本原稿に使用した図表および写真を、各々独立したファイルとして提出する。形式は、図表は Microsoft Word 形式もしくは Microsoft Excel 形式、画像は JPEG または PNG 形式とする。

## 7. 著作権

- 1) 本誌に掲載された論文の著作権は、琉球大学大学院観光科学研究科に属する。原著者が出典を明示しての再利用は妨げない。
- 2) 本誌に投稿する者は、本学の教育研究成果をインターネットで広く公開する琉球大学学術リポジトリへの登録を許諾したものとする。

## 8. 付記

不明な点などについては、E-mail にて編集委員会事務局に相談されたい。

観光科学 第9号 (9卷1号)

Journal of Tourism Sciences, Vol.9 (February, 2019)

2019年2月1日 発行

編集者 琉球大学大学院観光科学研究科

編集委員 飯島祥二 桑原浩 金城盛彦

査読者 稲村務 桑原浩

(五十音順)

発行所 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1

琉球大学大学院観光科学研究科

印刷所 コザ印刷所

# University of the Ryukyus

# Journal of Tourism Sciences

vol.9

## Contents

### Study Papers

- Consideration of OKINAWA Tourism from the viewpoint of visitor characteristics  
— School Trips —  
.....Hidekazu UESHIMA, Hidehiro KATAOKA 1
- Owners' bullfighting as seen from cooperative bull-raising in the modern Okinawa  
.....Rintaro Ikemoto, Akiko Matsumoto-Oda 21
- 【Special Seminar】** Discussing Feasibility of Enhancing Quality of Okinawa  
Tourism from Quantitative Benchmarks – Required Human Resources and  
Functions for a Destination Marketing Organization –  
..... (Shoji IJIMA • Hiroshi KUWAHARA • Morihiko KINJO) 35
- Expected Human Resource Management for US/Overseas Destination Management  
Organizations  
.....Tadayuki HARA 37
- Expected Human Resource Management for Japanese Destination Management  
Organizations  
.....Tetsuo SHIMIZU 42